

別紙 1

所有している特定施設の「通し番号と任意の名称」をお書きください

特定施設の構造

『工場・事業場排水と公共下水道』p.5～11 の表中の該当する番号をお書きください。

工場又は事業場における施設番号	1 酸洗浄装置	2 銅めっき装置
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
型 式	3 段向流水洗式	静止式
構 造	FRP 製	鉄製塩ビライニング
主 要 寸 法	0.8×0.6×1.0 (m)	0.8×0.8×1.0 (m)
能 力	430 リットル	580 リットル
配 置	添付 A-1 図のとおり	添付 A-2 図のとおり
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
工事完成予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
使用開始予定年月日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日
その他参考となるべき事項	<p>「設置年月日」は、特定施設が既に設置されている場合にお書きください。使用届出書及び構造変更届出書では記入が必要です。 なお、設置届出書では記入は不要です。</p>	

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	1 酸洗浄装置	2 銅めっき装置			
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設			
設置場所	添付A-1図のとおり	添付A-2図のとおり			
操業の系統	添付B図のとおり	添付B図のとおり			
使用時間間隔	8:30~17:00	8:30~17:00			
1日当たりの使用時間	8時間	8時間			
使用の季節的変動	あり 夏季は週6日 冬季は週3日	なし			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	〇〇処理液・仕上げ液 浸漬及び洗浄(自動) 各20リットル	シアン化銅 100 kg/月 シアン化ナトリウム 120 kg/月 光沢剤 25 kg/月			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	4	3	10	11
	銅	40	50	20	30
	亜鉛	40	50		
	シアン			60	80
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	20	30	10	15	
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1 工程排水処理施設				No.2 シアン系処理施設			
処理施設の設置場所		添付A-3図のとおり				添付A-3図のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日			
工事完成予定年月日		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日			
使用開始予定年月日		令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日				令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日			
種類及び型式		連続自動式				連続自動式			
構造		鋼板製				コンクリート製 耐薬品塗装			
主要寸法		添付C-1図のとおり				添付C-2図のとおり			
能力		30m ³ /日				20m ³ /日			
処理の方式		中和+凝集沈殿				アルカリ塩素法			
処理の系統		添付D図のとおり				添付D図のとおり			
集水及び導水の方法		添付D図のとおり				添付D図のとおり			
使用時間間隔		8:30~17:00				8:30~18:00			
1日当たりの使用時間		8時間				9時間			
使用の季節変動		あり 夏季は週6日 冬季は週3日				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		水酸化ナトリウム 8kg PAC 10kg				次亜塩素酸ナトリウム 65kg 硫酸 8kg 水酸化ナトリウム 8kg			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4	6~8	3	6~8	10	7~8	11	7~8
	銅	40	0.3	50	0.5	20	0.3	30	0.4
	亜鉛	40	0.5	50	0.7				
	シアン					60	0.1	80	0.2
	量 (m ³ /日)	30		40		10		15	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		0.4t/月 業者回収 (〇〇興業株)				0.2t/月 業者回収 (〇〇企画株)			
排出水の排出方法		下水道に放流				下水道に放流			
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

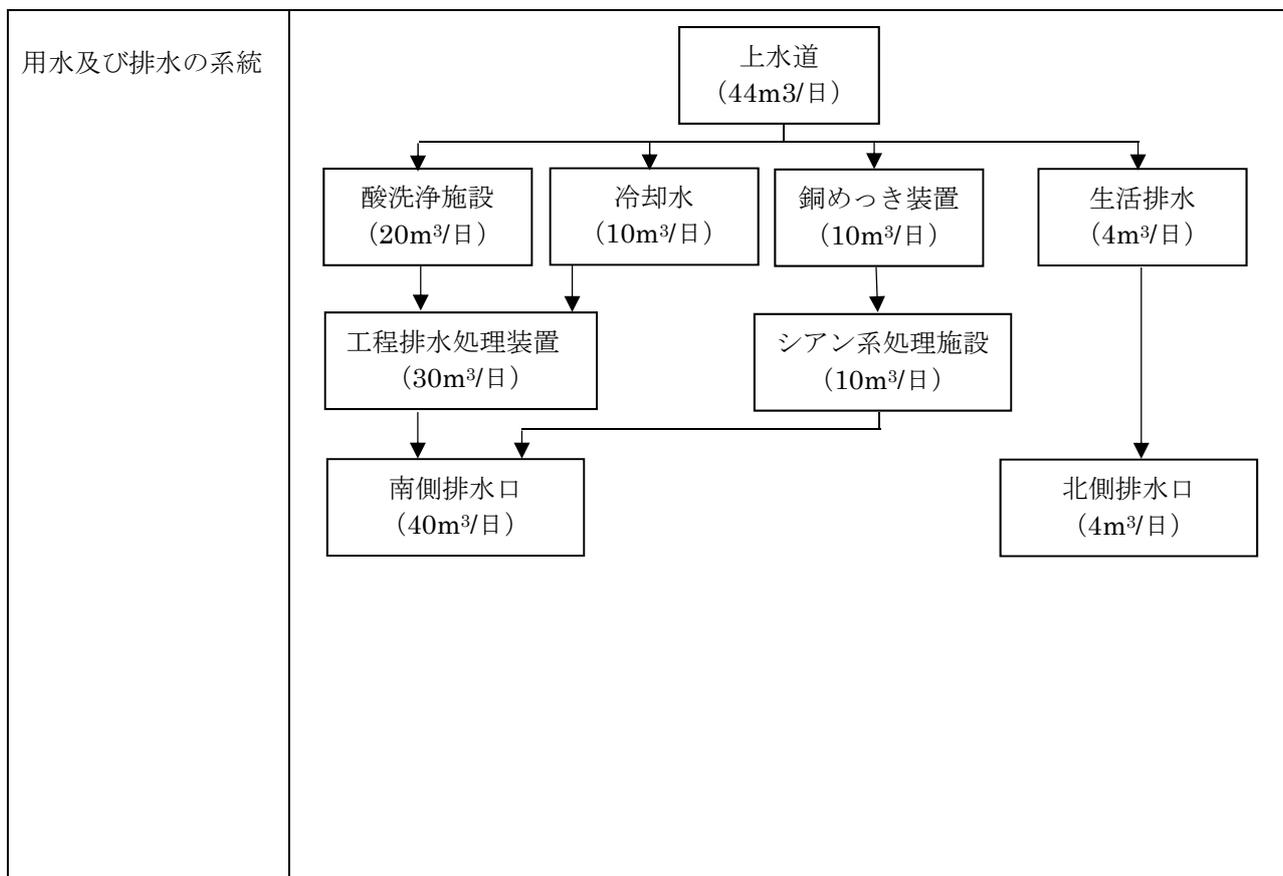
工場又は事業場における施設番号		No.1 工程排水処理施設		No.2 シアン系処理施設	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6~8	6~8	7~8	7~8
	銅	0.3	0.5	0.3	0.4
	亜鉛	0.5	0.7		
	シアン			0.1	0.2
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		30	40	10	15
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

公共下水道に排除する下水の量及び水質

排水口の別		南側排水口 (工業系排水)		北側排水口 (生活系排水)	
水質	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7	6~8		
	銅	0.3	0.5		
	亜鉛	0.5	0.7		
	シアン	0.1	0.2		
下水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		40	55	4	5

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m³/日)
	工程用水	水道水	30
	冷却水	水道水	10
	生活水	水道水	4
	消雪用水 (降雪時のみ)	井水	(雨水側溝へ)

「生活用水」は、従業員の便所や給湯室などの分です。だいたい3～4人で1m³/日(24時間)程度です。

参 考 資 料

資 本 額	円	従 業 員 数	(その事業場の勤務者) 人
主 要 製 品	(その事業場の製品)	操 業 時 間	(その事業場の操業時間帯) : ~ :
総務省の日本標準産業分類によります。不明の場合にはご相談ください。	業 種 名	敷 地 面 積	(その事業場について) m ²
		建 物 面 積	(その事業場について) m ²
付 近 見 取 図 (案内図)	下記のとおり・別添のとおり	電 話 番 号	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 を呼び出せる電話番号
付近の地図をお願いします。 市街図のコピーでも結構です。	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 の所属部署名	担 当 者	水質管理責任者 設備の維持管理担当者 等 のお名前

届 出 に 係 る 履 歴

施 設 番 号	届 出 の 根 拠	受 理 年 月 日	届 出 の 概 要
	第 条	年 月	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	
	第 条	年 月 日	以 下 別 紙

新規の届出の場合には、履歴の記載は不要です。

主要機械の配置及び用・排水経路

(図 面)

この用紙を使用する必要はありません。
既存の図面やカタログがあれば、そのコピーで結構です。
図の枚数や番号に制限はありません。
必要な図面を添付し、「第〇図」などとしてお示してください。

配置図には、特定施設以外の主要機器もご記入ください。

特定施設は、着色などによりわかりやすくお示してください。
用水と排水は、色分けしてお示してください。

注意

- 1 図面は道路を含めた事業所全体の概略図とすること。
- 2 特定施設と処理施設は () 等で明示すること。
- 3 用水と排水経路は色又は実線と点線により区別すること。